

## ■ 機 関 紹 介 ■

### 1. 組織概要

当社は、長野市を拠点に産業廃棄物のリサイクルや中間処理、環境プラントの設計・施工、汚染土壌の調査・対策、環境分析などを行う総合環境企業。環境測定に関する業務は1974年の会社設立当初から行っており、1998年に燕工場（新潟県燕市）内に特定物質計量センターの前身となる燕テクノロジーセンターも開設。現在は、5拠点で分析業務を行い、取り扱う検体は年間15,000件を超えている。

さまざまな条件下で検出される化学物質のデータとそれに適応して正確な分析を行う技術力の蓄積により、分析結果をもとに生産現場の臭気や製品不良等の課題を原材料や作業工程等の生産プロセスに遡って特定する原因究明分析や、長年放置された試薬等の成分や性状が分からない化学物質を特定する不明物分析を得意としている。

2019年には長年行ってきた漏洩事故等に対応する24時間365日サービスをさらに強化し、化学事故発生時や災害時等に現場で高精度の化学分析を行う、緊急化学分析サービスを開始。環境被害拡大の未然防止に努めている。

### 2. 沿革

1974年	ミヤマ株式会社設立 各種分析測定に関する業務並びに産業廃棄物処理に関する業務開始
1981年	環境計量証明事業登録（水質）
1985年	一般計量証明事業登録（熱量）
1986年	環境計量証明事業登録（大気）
1987年	作業環境測定機関登録
1989年	環境計量証明事業登録（音圧レベル）
1994年	環境計量証明事業登録（振動加速度レベル）
1999年	環境検査事業部（現環境検査計測事業部）がISO9002（現ISO9001）を取得
2003年	特定濃度に係る計量証明事業登録（ダイオキシン類）
2005年	本社がISO14001環境マネジメントシステム登録
2019年	緊急化学分析サービスを開始

### 3. 業務内容

・作業環境測定（粉じん、有機溶剤、特定化学物

質、金属、騒音）

- ・計量証明事業（水質分析、土壌・底質分析、大気測定、悪臭測定、騒音・振動測定、放射能測定、熱量測定）
- ・廃棄物分析（含有量試験、溶出試験）
- ・PCB分析、アスベスト分析、ダイオキシン類分析、シックハウス測定
- ・建築物飲料水水質検査、局所排気装置の定期自主検査代行

### 4. 作業環境測定の実施状況

環境検査計測事業部には22名の社員が在籍しており、そのうち作業環境測定に関しては9名（うち1種5名）の作業環境測定士が在籍している。令和2年度の測定を実施した単位作業場所は550カ所であり、分野別比率は粉じん11.1%、有機溶剤38.1%、特定化学物質27.9%、金属8.7%、騒音14.2%であった。

また、局所排気装置の定期自主検査代行、空気中アスベスト測定、ダイオキシン類作業環境測定、空気中の溶接ヒューム濃度測定等もおこなっている。

### 5. おわりに

当社は「日本一の総合環境企業」を目指し、環境問題のない社会の実現に向け環境技術の開発に取り組んできた。分析・計測部門では正確で迅速な分析、測定を行うことで社会の多様なニーズに応えて

きた。これからも不明物の成分調査や原因究明分析のさらなる技術向上を目指すとともに近年増加している石綿、橋梁塗膜の分析、変圧器等のPCB調査分析においても検査体制を拡充し、信頼性の高いデータ提供に努めていく。

総合環境企業の分析・計測部門として付加価値の高いサービスを生み出していくことを使命として脱炭素社会実現に向け環境負荷低減に尽力していきたい。

<https://www.miyama.net/>



ミヤマ株式会社本社



現場での化学分析サービスで活躍する移動分析車